

飛 込 競 技

◇主 催 (公財)日本水泳連盟・(公財)全国高等学校体育連盟・愛知県・愛知県教育委員会・名古屋市・名古屋市教育委員会

◇共 催 読売新聞社

◇主 管 (公財)全国高等学校体育連盟水泳専門部・愛知県高等学校体育連盟・(一社)愛知水泳連盟

◇後 援 スポーツ庁・(公財)日本スポーツ協会・日本放送協会・(公財)愛知県体育協会・(公財)名古屋市教育スポーツ協会

◇協 賛 J T B

◇期 日

- (1) 開会式 平成30年8月17日(金) 9時30分～
- (2) 競 技 平成30年8月17日(金)～8月20日(月) 4日間
- (3) 閉会式 平成30年8月20日(月) 15時50分～(予定)

◇会 場

- (1) 開会式 日本ガイシアリーナ
〒457-0833 愛知県名古屋市南区東又兵ヱ町5丁目1番地の5 TEL 052-614-6211
- (2) 競 技 同 上
- (3) 閉会式 同 上

◇競技方法

2018年度(公財)日本水泳連盟飛込競技規則による。

ア 参加選手16名以上の競技種目は、予選を行う。

イ 予選における演技種目は、自由選択飛とする。

ウ 予選の競技順は、地域予選会における得点の低い順に行う(抽選会は行わない)。決勝進出者は予選上位12位までの選手とし、決勝進出者に棄権者が出た場合は、繰上げをして12名を確保する。

エ 決勝は、各種目ともそれぞれの制限選択飛・自由選択飛の全種目で行う。ただし、決勝における自由選択演技種目は予選終了後30分以内であれば変更を認める。

オ 順位の決定は決勝の得点合計によって行う。

◇競技種目・競技日程

(1) 競技種目

ア 男子の部

- (ア) 3m飛板飛込 11演技種目
- 制限選択飛(難易度合計9.5以内) 各群より5演技種目
- 自由選択飛 各群より6演技種目

- (イ) 高飛込 10演技種目
- 制限選択飛(難易度合計7.6以内) 異群より4演技種目
- 自由選択飛 各群より6演技種目

イ 女子の部

- (ア) 3m飛板飛込 10演技種目
- 制限選択飛(難易度合計9.5以内) 各群より5演技種目
- 自由選択飛 各群より5演技種目

- (イ) 高飛込 9演技種目
- 制限選択飛(難易度合計7.6以内) 異群より4演技種目
- 自由選択飛 各群より5演技種目

(2) 競技日程

公式練習日 8月15日(水)、16日(木)

第1日 8月17日(金) 女子高飛込(予選)

		男子シンクロナイズド3m飛板飛込（公開競技）
		女子高飛込（決勝）
第2日	8月18日（土）	男子飛板飛込（予選）
		女子シンクロナイズド3m飛板飛込（公開競技）
		男子飛板飛込（決勝）
第3日	8月19日（日）	女子飛板飛込（予選・決勝）
第4日	8月20日（月）	男子高飛込（予選・決勝）

◇申込規定

1. 参加資格

- (1) 競泳競技、参加資格1の(1)～(8)に準ずる。
 (9) 前記(1)～(8)の他、以下によって参加資格を得た者。

ア 地域大会において、各競技種目の第1位の者。

イ 標準点数を突破した者（同点可）。

※審判員は各ブロックにおける、A級又はB級審判員によって構成される。

ウ 標準点数

種 目	男 子		女 子	
飛 板 飛 込 （ 3 m ）	11演技	323.00	10演技	285.00
高 飛 込	10演技	288.00	9演技	260.00

エ 全国大会開催都道府県特別措置

地域大会において、開催都道府県に出場資格者がいない場合、その該当競技種目において成績上位の選手男女1名を、全国大会開催都道府県の高等学校体育連盟および加盟団体で推薦することができる。

オ 全国大会特別措置

国際水泳競技大会の代表選手は、都道府県・地域大会を経なくても出場できる。

選手が国際大会などの代表選手に選ばれたため予選会に出場することができない場合は、予選会への出場を免除する。ただし、その理由書（特別措置申請書）を都道府県高等学校体育連盟水泳専門部委員長に提出し、その後、委員長は下記へ提出すること。

なお、届出者は当該学校長とする。

- (ア) 学校登録の各都道府県高等学校体育連盟水泳専門部長
- (イ) 地域大会開催都道府県高等学校体育連盟会長
- (ウ) 地域大会開催都道府県高等学校体育連盟水泳専門部長
- (エ) 全国大会開催都道府県高等学校体育連盟会長

2. 参加制限

1校1種目3名以内とする。

3. 参加申込

【個人情報の取扱いに関して】

大会参加に際して提供される個人情報は、本大会活動に利用するものとし、これ以外の目的に利用することはありません。（詳しくは実施要項の最終ページを参照してください。）

(1) 申込書類

ア 「A. 飛込（男女別）参加種目別一覧表及び学校長認知書」……（ダウンロードにより4枚作成）

- (ア) 会場地実行委員会事務局送付用
- (イ) 都道府県高体連事務局用
- (ウ) 宿泊申込書添付用
- (エ) 参加校控

イ 「B. 参加校別選手数一覧及び参加料納入書」……………（ダウンロードにより2枚作成）

- (ア) 会場地実行委員会事務局送付用

(イ) 都道府県高体連盟水泳専門部控用

ウ 「D. 飛込 (男女別) 種目別参加申込書」…………… (ダウンロードにより2枚作成)

(ア) 会場地実行委員会事務局送付用

(イ) 地域大会主管団体控用

ただし、地域大会における飛込競技記録 (飛込報告用紙の写し (副) 2枚複写) の1通を必ず添付すること。(添付のないものは、受け付けない。)

(2) 申込方法

(注) 申込書類A・Bの送付については、各都道府県の高等学校体育連盟 (以下、この項においては「高体連」という。) 水泳専門部委員長が一括して手続きをし、Dについては地域大会飛込責任者及び(公財)全国高体連専門部飛込委員会地域責任者が一括して手続きすること。

ア 参加校が作成・手続き・保管するもの

「A. 飛込 (男女別) 参加種目別一覧表及び学校長認知書 (以下、「A. 学校長認知書」という。)」地域大会終了後、「2018 彩る感動 東海総体」ホームページから「A. 学校長認知書」の様式をダウンロードして、4部作成する。その後、各都道府県高体連水泳専門部によって定められた申込日までに提出し、返却された1部 (参加校控) を保管する。

イ 各都道府県高体連水泳専門部が作成・手続き・保管するもの

(ア) 「B. 参加校別選手数一覧及び参加料納入書」

「2018 彩る感動 東海総体」ホームページから「B. 参加校別選手数一覧及び参加料納入書」の様式をダウンロードして参加申込日までに2部作成。1部は参加料振込証明書 (各金融機関の振込金受取書又はATM利用明細票等) を添えて会場地実行委員会事務局へ送付する。残り1部は各専門部の控えとする。

(イ) 「A. 学校長認知書」

各学校より提出された「A. 学校長認知書」を確認し、1部コピーをして各専門部控とするとともに、残りの4枚は次の送付先へ送付・返却する。

① 会場地実行委員会事務局送付用……………会場地実行委員会事務局へ

② 都道府県高体連事務局用……………各都道府県高体連事務局へ

③ 宿泊申込書添付用……………宿泊申込書に添付し、宿泊申込先へ

④ 参加校控……………参加校へ

※申込期日に届かないと思われる場合には、地域大会責任者の印にて先に申し込み、後日、学校長の印にて各都道府県高体連水泳専門部委員長 (部長) が正式に申し込むこと。

ウ 地域大会主管団体が作成・手続き・保管するもの

「D. 飛込 (男女別) 種目別参加申込書」

「2018 彩る感動 東海総体」ホームページから「D. 飛込 (男女別) 種目別参加申込書」の様式をダウンロードして2枚作成する。「地域大会主管団体控用」を保管するとともに、残り1枚は会場地実行委員会事務局へ送付すること。

なお、作成したデータは会場地実行委員会事務局へメール添付して提出すること。

(3) 飛込演技種目申込手続きについて

飛込参加者は、既定のダイブシートに自分が行おうとする飛込演技種目の番号、名称、型、飛板又は台の高さ、難易度を記入して、それぞれの当該競技の前日12時から15時までの間に、飛込プールサイドの「ダイブシート投函箱」に入れること。なお、予選用および決勝用を必ず提出すること。

(4) 申込先

ア 会場地事務局

大会要項参照のこと。

(5) 申込期限 平成30年7月27日 (金) 正午 必着

ア 地域大会終了後、各都道府県高体連水泳専門部委員長は、本大会選手数を、当該都道府県高体連事務局に届け出ることを義務とする。

イ 申込書類については、必ず簡易書留郵便で送付すること。

- (6)「2018 彩る感動 東海総体」ホームページ
<https://www.koukousoutai.com/2018soutai/>

4. 参加料

- (1) 1人 4,000円

(2) 納入方法

ア 参加申込と同時に各都道府県高体連水泳専門部委員長が取りまとめ、各金融機関の振込依頼書又はATM等を用いて、下記の口座に振り込むこと。

イ 振込先 大会要項参照のこと。

(3) 参加取消に伴う納入金の取り扱い

ア 参加申込期限日までの取消については返金する。ただし、振込手数料を差し引いた額とする。

イ 参加申込期限日後の取消については、返金しない。

◇引率・監督

- (1) 引率責任者は、団体の場合は校長の認める当該校の職員とする。個人の場合は校長の認める学校の職員とする。
- (2) 監督は、校長が認める指導者とし、それが外部指導者の場合は傷害・賠償責任保険（スポーツ安全保険等）に必ず加入することを条件とする。ただし、各都道府県における規定があり、引率・監督者がこの基準より限定された範囲内であれば、その規定に従うことを原則とする。

◇得点（選手権校決定）

学校対抗とし、選手権獲得校の決定方法は、以下による。

各種目は1位8点、2位7点………8位1点とし、得点の最も多い学校を優勝校とする。

総合得点と同じ場合は、次の順序に従って順位を決定する。

- 1 入賞者数の多い学校
- 2 1位の数
- 3 2位の数（以下、8位までこれにならう。）
- 4 当該入賞者の得点の平均点が高い者のいる学校（平均点は、小数点第3位を四捨五入し、小数点第2位まで算出する。）
- 5 当該入賞者の得点の中で、1種目について最も高い数値を得た者のいる学校

◇ドーピング検査

本競技会は、日本アンチドーピング規定が適用される。

◇表彰

優秀な成績を収めた者を表彰する。

- (1) 男女とも各種目の第3位までにメダルならびに賞状を授与し、その栄誉を称え表彰する。また、第4位から第8位までには賞状を授与する。

(2) 総合成績

男女とも優勝校および第2位・第3位の学校の栄誉を称え表彰する。また、第4位から第8位までの学校には賞状を授与する。

優勝校には優勝杯を授与する。

男子 （公財）全国高等学校体育連盟会長杯・（公財）日本水泳連盟会長杯・文部科学大臣杯・NHK盾・読売新聞社杯

女子 （公財）全国高等学校体育連盟会長杯・（公財）日本水泳連盟会長杯・文部科学大臣杯・NHK盾・読売新聞社杯

- (3) 前年度優勝校にはレプリカを授与する。

- (4) 3大会連続で優勝した者（同一種目3連覇、シンクロは除く）を優秀選手として表彰する。

- (5) オリンピック等国際大会出場者は、3大会連続優勝した選手とは別に特別優秀選手として表彰する。

◇公式練習の日程及び会場

期 間 場 所	15日 (水)	16日 (木)	17日 (金)	18日 (土)	19日 (日)	20日 (月)
日本ガイシアリーナ 〈飛込プール〉	13時00分 ～ 17時00分	10時00分 ～ 17時00分	7時30分 ～ 9時10分	7時30分～競技開始30分前 自由練習		
			競技のない時間帯および 競技終了後～18時00分 自由練習			

◇諸 会 議

会 議 名	日 時	会 場
組合せ編成会議	7月30日(月)～8月1日(水) 9時00分～17時00分	日本ガイシアリーナ会議室
組合せ会議	8月2日(木) 10時00分～	日本ガイシアリーナ会議室
水泳専門部常任委員会	8月16日(木) 11時00分～13時00分	日本ガイシフォーラム 第2研修室(アリーナ隣接)
監督者会議	8月16日(木) 16時00分～17時30分	日本ガイシフォーラム レセプションホール 第1研修室(アリーナ隣接)
全国高体連水泳専門部会	8月17日(金) 17時45分～19時00分	日本ガイシフォーラム 第1研修室(アリーナ隣接)
全国高体連飛込委員会	8月18日(土) 18時00分～19時30分	日本ガイシフォーラム 第2研修室(アリーナ隣接)

◇宿 泊 開催地実行委員会宿泊要項による。

◇連絡事項

- (1) 競泳競技(1)～(3)に準ずる。
- (4) 開会式の参加選手は、競泳競技と合わせて各ブロックから男子10名、女子10名、計20名とする。閉会式は表彰を受けるチームと開催ブロック選手団から編成する。
- (5) 選手の大会期間中における本会場の開門時刻は、原則として「公式練習の日程及び会場」の使用開始時刻とする。
- (6) 駐車場については、HP掲載の注意事項を確認すること。
- (7) 大会会場の入場については、監督者会議にて連絡する。
- (8) 観覧席の地区割振り等については、別途計画し監督者会議で示す。
- (9) 会場でのプライベートテントの使用はできない。

◇問合せ先 大会要項参照のこと。

シンクロナイズド飛込 (公開競技)

◇競技種目

- (1) 男子シンクロナイズド3m飛板飛込(異群より4演技種目)

難易度構成表にかかわらず難易度を2.0とみなすもの 2演技種目

自由選択飛(前踏切の場合は助走を伴うこと) 2演技種目

- (2) 女子シンクロナイズド3m飛板飛込(異群より4演技種目)

難易度構成表にかかわらず難易度を2.0とみなすもの 2演技種目

自由選択飛(前踏切の場合は助走を伴うこと) 2演技種目

※ 平成30年度は、飛込台の規格によりシンクロナイズド高飛込が行えないため、シンクロナイズド3m飛板飛込のみ実施する。

※ 種目数は変更する場合もある。

◇競技日程

公式練習日 8月15日(水)、16日(木)

第1日 8月17日(金) 女子高飛込(予選)
男子シンクロナイズド3m飛板飛込
女子高飛込(決勝)

第2日 8月18日(土) 男子飛板飛込(予選)
女子シンクロナイズド3m飛板飛込
男子飛板飛込(決勝)

第3日 8月19日(日) 女子飛板飛込(予選・決勝)

第4日 8月20日(月) 男子高飛込(予選・決勝)

◇会場 日本ガイシアリーナ

◇競技規則

2018年度(公財)日本水泳連盟飛込競技規則による。

◇競技方法

- (1) 順位の決定は、4演技種目の得点合計によって行う。
(2) シンクロナイズド飛込は公開競技であり、学校得点には加算しない。

◇参加資格

本大会3m飛板飛込競技の参加資格を2名とも得ていること。

◇参加制限

- (1) シンクロチームは、各地域から1チームとする。
(2) 1位～3位までに入賞した地域は、次年度出場権を得たものとする。したがって2チームの参加が認められる。
(3) 本大会の2チーム参加可能地域は、以下の通りとする。
男子：関東、近畿 女子：北信越、四国

◇参加申込

※個人情報の取扱いに関して

大会参加に際して提供される個人情報は、本大会活動に利用するものとし、これ以外の目的に利用することはない。(詳しくは実施要項の最終ページを参照すること)

- (1) 申込書類

「E シンクロナイズド飛込(男女別)種目別参加申込書」

- (2) 申込方法

地域大会飛込担当者が一括して手続きを行い、大会地実行委員会事務局へ送付すること。

なお、作成したデータは大会地実行委員会へメール添付して提出すること。

(3) 飛込演技種目申込手続きについて

シンクロナイズド飛込参加者は、既定のダイブシートに、チームが行おうとする飛込演技種目の番号、名称、型、難易度を記入して、それぞれの当該競技の前日12時00分から15時00分までの間に、飛込プールサイドの「ダイブシート投函箱」に入れること。

(4) 申込先

ア 会場地事務局

大会要項参照のこと。

(5) 申込期限 平成30年7月27日（金）正午 必着

ア 地域大会終了後、各都道府県高等学校体育連盟水泳専門部委員長は、本大会選手数を、当該都道府県高等学校体育連盟事務局に届け出ることを義務とする。

イ 申込書類については、必ず簡易書留郵便で送付すること。

(6) 「2018 彩る感動 東海総体」ホームページ

<https://www.koukousoutai.com/2018soutai/>

◇表 彰

男女とも第3位までを表彰し、(公財)全国高等学校体育連盟水泳専門部長の名義で賞状を授与する。

◇組 合 せ

平成30年8月2日（木）10時00分 日本ガイシアリーナ会議室において組合せを行う。

◇連絡事項

シンクロナイズド飛込競技の詳細は、監督者会議で決定する。

◇そ の 他

公開競技は、正式種目ではない。

◇問合せ先 大会要項参照のこと。